

みんなで語ろう会

ニュースレターNO.78 2019年5月発行

2019年4月17日に第84回“みんなで語ろう会”を開催しました。春の風が爽やかな午後、がん体験者10名(男性2名、女性8名)のご参加を頂きました。今回もさまざまな体験が話される中、病気を経験してからの気持ちの変化や人間関係についての話題がとくに多く出されました。笑いあり、涙ありで、想いを分かち合った2時間となりました。



サロンのお約束を確認して始まりました。

- ・自分のことは自分の言葉で話すこと
 - ・他の方のお話は、善し悪しの評価をしないで最後まで聴くこと
 - ・サロンでのお話はこの場限りによること
- 以上三点です。また、個人情報保護のために、SNSの投稿、録音、写真撮影は禁止です。ご協力をお願いしました。

○数カ月後の検査のことを考えると、今から不安な気持ちになる。みんなの話を聴いてヒントをいただけたらと思い、参加した。

○自分は退職してからがんが見つかったが、現役の人たちの職場復帰がどうなっているのか気になる。

○がんという病気は他と比べてまだ特別な目で見られている、という気がしている。もう少し周囲の理解が進んでくれたら、より安心して治療に入れるように思う。

○昼間は外で気を張って頑張っているが、夜、ひとりになると泣いていた時期があった。昼間は無理していたことに気づかされた。

○夫には時にいらいらした気持ちをぶつけてしまうことがある。でも、彼は私のそんな姿を見守ってくれている。いつも心の中で感謝している。

○病気を経験して、食事もさることながら、人間関係の見直しもできたように思う。

○だれに自分の病気のことを話していいか、以前よりも勘が働くようになった。人の気持ちを敏感に察するようになったように思う。

○自分の弱みをさらけ出せる人間関係はありがたい、とつくづく思うようになった。このような場も、自分を素直にさらけ出せる安心感があり、ありがたい。

○いろいろな経験をしてくれて、今は生きること感謝する気持ちが生まれてきた。

一部ですがご紹介させていただきました。次回もスタッフ一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後の予定

- 日時: 毎月・第3水曜日 13時～15時
2019年6月19日(水)
2019年7月17日(水)
- 場所: 武蔵野赤十字病院 多目的室
5番館 3F 情報ラウンジ横
- 対象: 主にがん患者さん・ご家族
どちらの医療機関にかかっても参加できます。
(申込みは不要、参加費は無料です。)